



シルバーだより

No. 268

平成24年10月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～奇跡の一本松からのメッセージ～

今と昔の町歩き教室・健康体操教室講師 望月公子

想定外の大津波を引き起こした東日本大震災から一年半が経ちました。

「報道ではわからないよ。行って見なければ・・・！！」と被災地の親戚に行ってきた友人たちから聞かされることが多くなりました。こうした折、25年前に教えた子供のお母さんたちと復興応援ツアーに参加しました。それは、陸前高田市の奇跡の一本松が保存のために切り倒される三日前のことでした。新聞で見る松は、瓦礫の向こうに立つ一本松でしたが、実は松の足元近くまで潮溜まりが出来ていて海岸とは目と鼻の先に立っていました。七万本もあったといわれる松林は、地盤沈下もあり、根こそぎ洗い流されていました！



被災地は二度目の夏を迎えて雑草は瓦礫を覆い尽くすほど伸びていました。それなのに、なぜ松が枯れるのか不思議でした。が、実際には、松のすぐ手前は海、左右は潮溜まりでしたから、松の根に雨水が回って行かないのです。これでは、いくら塩害に強いといわれる松でも、生きて行けなかつたらと納得できました。

又、どうして驚異的な津波をまともに受けながら一本だけ残ったのでしょうか？ 素人の私には本当の事は解りませんが、よく見ると松の立っているあたりだけは草もなくポッコリと高くなっていました。天辺まで津波をかぶったのに流されなかった最大の理由は、地面の下が飛び出た岩だからではないかと思いました。数十年かけて松は過酷な大岩に根を伸ばし、岩に巻きつき、岩の割れ目に命の水を求め続けて成長したように思えてなりませんでした。

それだからこそ、69,999本の松が流されても一本だけ残ったのではないのでしょうか？軌跡は起こるべくして起きたのではないのでしょうか？

今、世界中からの要望で一億円余りかけて保存することが決まり、根元から切られましたが、地下で松を支えた根っこの有様を見ることは望むべくもありません。死してなお、生きる強さを示してくれる松の姿に手を合わせるのみでした。戦中戦後を生きてきた私たちと、あの松を重ね合わせることはおこがましいのでしょうか？でも、とっても似ているように思いませんか？生きてこそ

命です！！「一日一日を更に有意義に生きるように」と一本松に説得されて、「シルバーの皆さんとこの思いを一緒にしよう」と思いながら帰ってきました。

9月21日荒川区役所からシルバー大学に対して、東日本大震災の再の義捐金に感謝状が出されました。更に、区長をはじめ区議会議員の皆様からシルバー大学に対して励ましと期待の言葉をいただきました。

10月は、一年中で一番過ごしやすい季節です。元気爆発の気力で学び合いましょう。以上



.....

「シルバー研修旅行に参加して」

今年の夏は何時までも暑い日が続いています。

8月26日から二泊三日の旅でした。区役所前を出発、東北道で目的地目指してバスは走る。猪苗代湖など眺めながら、東山温泉ホテルに到着。夜の宴会は楽しいひとときでした。

二日目はお目当ての「お座敷トロッコ列車」から会津の田園風景と溪谷を見ながら、風と空気の流れなど体を感じ、都会とはまったく違う感覚です。途中下車して※「湯野上温泉駅」で茅葺き屋根の駅舎を眺め、待合室には大きな「いろり」があり、ほっとする。それからネーミングが方言の※「塔のへつり駅」。帰りはバスで「飯盛山」の紙芝居を見、「鶴ヶ城」を見学して宿に。宴会のあとゆっくりと温泉に入りました。

三日目は予定より30分早く出発して、会津西街道へ。清々しい風を感じながら山の中を走る。宇都宮でお昼を食べ、「日光ゆばつくり体験」をする。東北道を走り、区役所前に4時半に到着。役員の方々にはお世話になりました。楽しい旅行でした。

37班 中山春江



※湯野上温泉駅



※塔のへつり駅

オリンピック観戦



今年の旅は、家族でイギリスオリンピック観戦とポーランド観光に決めた。息子がロンドンに住んでいるのをチャンスに、観光も兼ねて女子バレーボールと男子マラソンを観戦してきた。

バレーボールは、ロンドン西部のアールズコート地区にある 15,000 人収容できる広い会場で行われ、アメリカ対韓国の準々決勝の試合だった。私達の座席のある 4 階からは選手達の姿は遥か彼方に小さくしか見えず、意外に感じた。代わりに天井から吊り下げられていた大きなスクリーンの場面から選手達の早い動きがよく見えた。私はどちらを応援するか迷ったが、韓国にした。アメリカチームの背の高さとパワー、更に強いサーブで崩され、韓国チームは 3 対 0 で負けた。勝敗の結果にかかわらず、それぞれのチームが 1 点入れるたびに大歓声があがり、会場は熱気満々、全身全霊で力を出しきることができたチームに共感し、時には涙も出た。見事な試合だった。

オリンピックの最終種目は男子マラソンで、私達はセントポール寺院とテムズ河に囲まれたブラックフライヤース(黒い托鉢修道士という意味の地名)という駅の側にやっと見物場所を見つけた。第一走者の前には、報道車が先行し、そこにカメラマン 40 人位が乗っていて吃驚した。選手の走っている息遣いや汗の光っているのまで見える距離で観戦でき、ラッキーであった。

選手達は私の前をアツというまに走り去る。アフリカ勢が強い第二集団の中に日本の藤原選手がいたのが判り、夢中で「日本ガンバレ」とこれ以上だせない声で応援した。その藤原選手は注目されていたが、2 周目には先頭集団にはいなかった。代わって中本選手が持ち味の安定感を生かし 6 位に入賞した。

コースは私もロンドンマラソンで走ったことがあるコースと重なる部分があり、その思い出が頭をよぎった。滞在中、地元テレビは英国チームの活躍を優先したので、日本チームの試合はあまり見ることができず残念だったが、然し生で見た試合は、テレビ観戦以上に心に残るものとなった。因みに私が応援している姿があるかと何人かの友人達がテレビ中継を見ながら探したらしい。反対側の沿道には、日本の大きな旗をかかげた家族もおり、なお応援に力が入った。再放送の録画を見ると、12 マイル地点と 20 マイル地点の沿道の観客の中に私達家族の応援する姿が一瞬に写されていた。

今回のオリンピックは 204 カ国と約 10,500 人の参加があり、日本は役員を含め 518 人の選手団を送り盛大な大会となった。4 年後のブラジル大会に、私もまた行きたいと思った。また夢が広がる。

42 班 篠沢欣子



♡♡♡ お知らせ ♡♡♡

① 荒川シルバー大学前理事長秋山照子先生褒章受章について

2月23日ご逝去の秋山照子先生が、このたび褒章「瑞寶雙光章」を受章なさいました。謹んでお祝い申し上げます。

② 「秋山理事長を偲んで」の原稿募集について(広報部より)

秋山先生の功績を讃え、感謝の気持ちを込め追悼文集を作成します。ありし日の思い出など、投稿をお待ちしています。

400字程度 締切日11月末日 事務所内指定の箱まで。

10月の行事予定

期 日	行 事	プログラム
22 (月)	講 義 兼杉三枝子 秋のコンサート 歌：兼杉三枝子 ピアノ：代島きよ子	曲目：アメージンググレース・ こきりこ・翼をください・一晚 中踊りたい 他
会場：サンパール荒川三階 小ホール 開場1時半 開演2時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9月) ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|----|---------------------------------|-----|-----------------------------|
| 3日 | 常任理事会・役員会 | 21日 | 学園祭 ^ホ スター都電駅掲示申請 |
| 3日 | 学園祭お茶券販売開始 | 24日 | 旧真土小使用申請 |
| 6日 | 「100歳バンザイ」出版社より
取材受ける(絵手紙教室) | 27日 | 朗読教室発表会 |
| | | 28日 | シルバーだより 279号作成 |

※ 事務局だより ※

① 講師会のお知らせ：10月4日(木) 午後1時～、会場：第一会議室

※ 尚、後期日程表に掲載してある11月1日の講師会は取消です。

② 学園祭 期日：11月9日～11日(金土日)

③ 学園祭反省会：11月16日(金) 17時～、会費3,500円

会場：さくらレストラン(区役所地下一階)

(集金：10月2日の役員会当日までに各地区長へ)

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>



室長・田原